

## インフォメーション

### 日本蜘蛛学会 第45回大会 (2013年度)のご案内

日程：2013年8月24日(土)・25日(日)  
[役員会を23日(金)午後開催]

8月24日(土) 10:00～

一般講演，ポスター発表，公開シンポジウム，総会，懇親会

8月25日(日) 10:00～

一般講演

開始時刻については今後変更の可能性もあります。

会場：高知大学農学部(物部キャンパス)  
(〒783-8502 南国市物部乙200番地)

#### 問い合わせ先

〒783-8502 高知県南国市物部乙200番地

高知大学農学部自然環境学コース

昆虫生態学研究室

伊藤 桂

電話 & FAX 番号 088-864-5136

電子メール ktr@kochi-u.ac.jp

申し込み等の詳細は決まり次第別途お知らせいたします。



## 同好会情報

ここでは日本各地にあるクモ同好会で発行されている定期行物の内容，採集会や講演会(総会・例会)の日程などを紹介する。興味を持たれた方は入会したり，行事に参加されてはいかがでしょうか。

#### 関西クモ研究会(会長：田中穂積)

会報「くものいと」を年2回発行。採集会・研究会例会などを年数回実施。

くものいと47号(作成中)

#### 採集会

2013年9月22日(日)，茨木市安威周辺  
10時10分追手門学院大学正門前集合

#### 例会

2013年12月21日(土)13:00より  
追手門学院大阪梅田サテライト(阪急ターミナルビル16階)で実施。

#### 入会申し込み

〒567-8502 茨木市西安威2-1-15

追手門学院大学生物学研究室内  
関西クモ研究会  
Tel : 0726-41-9550 (加村研)  
Fax : 0726-43-9432 (大学教務課)  
会費 年 1000 円

**三重クモ談話会** (会長 : 橋本理市)  
会報「しのびぐも」を年 1 回発行. 採集会・  
合宿・例会などを年数回実施.

しのびぐも 40 号 (作成中)

採集会

2013 年 6 月 2 日 (日) 小岐須溪谷 近鉄鈴  
鹿市駅 10 時集合

7 月 27 日 (土) ~28 日 (日) 松阪市飯高  
町一帯中部蜘蛛懇談会との合同開催

9 月 1 日 (日) 伊賀市上野森林公園 伊賀鉄  
道市部駅 10 時集合

10 月 20 日 (日) 伊勢市二見町から明和町  
近鉄宇治山田駅 10 時集合

12 月 7 日 (土) 同定会 松阪市日野町カリ  
ヨンプラザ 10 時集合

2014 年 2 月 22 日 (土) 年間活動反省会お  
よび学習会松阪市日野町カリヨンプラザ  
10 時集合

参加希望者は事務局 (貝發) まで連絡してくだ  
さい

入会申し込み

〒515-0087 三重県松阪市萌木町 7-4

貝發憲治 (事務局)

Tel (Fax) 0598-29-6427

mail : kumo@mctv.ne.jp

会費 年 2000 円

**中部蜘蛛懇談会** (代表 : 緒方清人)

会報「蜘蛛」を年 1 回, 「まどい」を年 3 回発  
行. 採集会を年 2~4 回. 総会・研究会を年 1  
回実施.

蜘蛛 (KUMO) 45 号 (2012 年 11 月 1 日発行)  
徳本 洋: 樹幹に産卵されたジョロウグモ卵囊  
の付着面角度

須賀瑛史: 岐阜県でツノオニグモ *Araneus  
stella* の分布確認

緒方清人: キハダキヌキリグモの生息分布につ  
いて

緒方清人: 愛知県産クモ目録 追加種 (IV)

緒方清人: ヨツコブヒメグモの幼体にもコブは  
あった

緒方清人: 北設楽郡設楽町田峰段戸裏谷のジョ  
ロウグモ

柴田良成: 越冬する蜘蛛

大坂 歩: アリグモ日記

貞元己良: 最強の助っ人登場! 長野県のクモ  
調査隊

短報

柴田良成: クモの点描記録-1

柴田良成: 今年はスズミグモの当たり年?!

加藤利行: 岐阜県におけるカトウツケオグモ  
とスズミグモ新分布地

須賀瑛文: ハラクロコモリグモ水に潜る~写  
真追記~

採集観察会

2013 年 5 月 19 日 (日) 大高緑地 (名古屋市  
緑区) 担当: 緒方清人

6 月 9 日 (日) 小幡緑地公園 (名古屋市守山区)  
担当: 柴田良成

7 月 27 日 (土) ~28 日 (日) 三重クモ談話

会との合同合宿 担当：貝發憲治

8月4日(日) 夏休み子ども観察会八事興正寺  
(名古屋市昭和区) 担当：筒井明子・柴田良成

9月詳細未定 荒子川公園 (名古屋市中川区)  
担当：須賀瑛文

10月詳細未定 庄内緑地 (名古屋市西区)  
担当：小栗大樹

総会・研究会は2014年2月11日(休)

入会申し込み他

全般について

〒472-0022 知立市山屋敷町東山10-6

緒方清人(代表)

Tel 0566-83-4474

E-mail:neon\_kiyotoi@ybb.ne.jp

入会・会費など

〒451-0066 名古屋市西区児玉1-8-24

柴田良成(会計)

Tel 052-522-1920

会費

正会員 年3000円(高校生以下1000円)

準会員 「まどい」のみ1000円

**東京蜘蛛談話会**(会長：新海栄一)

会報「KISHIDAIA」を年2回、「談話会通信」

を年3回発行。採集会年4回・合宿年1回・

総会例会などを年2回実施。

今年度の採集会は、日和田山で行います。

7月7日(日) 10月6日(日) 2月16日(日)

西武高麗駅改札前午前10時集合

世話人：平松毅久・仲條竜太

連絡先：平松携帯 080-6633-2737

例会は、11月下旬あるいは12月上旬の日曜日10時より東京環境工科専門学校で実施。

KISHIDAIA 101号(2012年12月31日発行)

谷川明男・新海 明：今ここにいるイソコモリを大切にしよう

前川正博・中島晴子：デンマークの蜘蛛占い

池田博明：熱帯のユウレイグモ類の網の多様性

谷川明男：韓国イソコモリグモ探蛛行

新海 明：とうとう「北海道」だ

徳本 洋：秋季の林内におけるジョロウグモ雌雄個体数、卵のう数の推移

徳本 洋：林相変化にともなう林内でのジョロウグモ分布の変動

谷川明男：ワクトツキジグモは湿度が高いときに造網する

池田博明：「毒グモ騒動の真実」補足解説

**DRAGLINES**

平松毅久：カトウツケオグモのみを採集

平松毅久：ジョロウグモの網で餌盗みをする？ヤリグモ属幼体

谷川明男・新海 明：本州北限のイソコモリグモと明戸海岸のイソコモリグモ

新海 明：ムツトゲを採集に行った山梨県で「ムツトゲを採った」

新海 明：クロマルイソウロウグモを山梨県で発見

馬場友希・大澤剛士：神奈川県箱根町で採集されたクモ

馬場友希・大澤剛士：滋賀県大津市で採集されたクモ

藤澤庸助：浅間山にゴマダラヒメグモが多数  
須黒達巳：タニカワヨリメハエトリの新たな  
採集地  
馬場友希・馬場まゆら：宮城県大崎市仲蒔地  
区で採集されたクモ  
馬場友希・田中幸一：種子島で採集されたク  
モ  
初芝伸吾・甲野 涼：東京蜘蛛談話会 2009 年  
度合宿報告 長野県立科町のクモ類  
笹岡文雄：伊豆諸島・御蔵島のクモ  
佐藤 勝：秋田県で新たに確認されたクモ  
追悼 関口晃一先生  
池田博明：関口晃一先生の青春  
池田博明：関口晃一青年の鞭状腺の発見  
加藤むつみ：関口先生追悼文  
新海 明：関口先生の「宿題」  
谷川明男：関口晃一先生の思い出

KISHIDAIA 102 号 (2013 年 3 月 31 日発  
行)

貞元己良：都内でアワセグモが見つかった  
輿石紗葉子：クモから得られた線虫類，冬虫夏  
草 および寄生蜂の記録  
須黒達巳：南西諸島に産するハエトリグモ  
*Bianor incitatus* について

貞元己良：2012 年四会合同合宿に参加して  
須黒達巳：サイホウキンダグモのオスを採集  
梅林 力：走査電子顕微鏡で見たクモの微細構  
造 その 1

#### DRAGLINES

谷川明男：佐渡島にもイソコモリグモがいた  
池田博明：チリイソウロウグモの卵のうと色  
とクラッチサイズ  
高津佳史：ハタチコモリグモは大型美麗種だ  
った！

高津佳史：真冬のゲホウグモ  
馬場友希・田中幸一：島根県で採集されたク  
モ  
馬場友希・田中幸一：滋賀県で採集されたク  
モ  
馬場友希・田中幸一：和歌山県で採集された  
クモ  
馬場友希・田中幸一：福島県で採集されたク  
モ  
馬場友希・大澤剛士：神奈川県箱根町で採集  
されたクモ II  
馬場友希・大澤剛士：静岡県御殿場市で採集  
されたクモ  
馬場友希・大澤剛士：多摩丘陵で採集された  
クモ  
馬場友希・大澤剛士：富山県と福井県で採集  
されたクモ  
馬場友希・大澤剛士：滋賀県で採集されたク  
モ  
馬場友希・須黒達巳：筑波山地で採集された  
クモ  
仲條竜太・久保真司：八丈島で採集したクモ  
仲條竜太：青ヶ島で採集したクモ  
萱嶋 泉：シモングモに就いて  
佐藤幸子：クモ観察記 1979~1983 年

入会申し込み

〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8

コンフィデンス高垣 105 (有) エコシス  
初芝伸吾 (事務局)

Tel 042-501-2651

E-mail:hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

会費 年 3800 円 (学生 2000 円)



## 東京クモゼミ

毎月1回、第1土曜日に千葉縣市川市の加藤宅で開催。会費などなく誰でも参加できる。

連絡先 新海 明 042-679-3728

または、加藤輝代子 047-373-3344

## 関西クモゼミ

会費などなく誰でも参加できる。

連絡先 吉田 真 077-561-2660

## メーリングリスト「クモネット」

会費などなく誰でも参加できる。入会の申し込みは谷川明男まで e-mail で。

dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp



## 書評

### ダニ・マニア

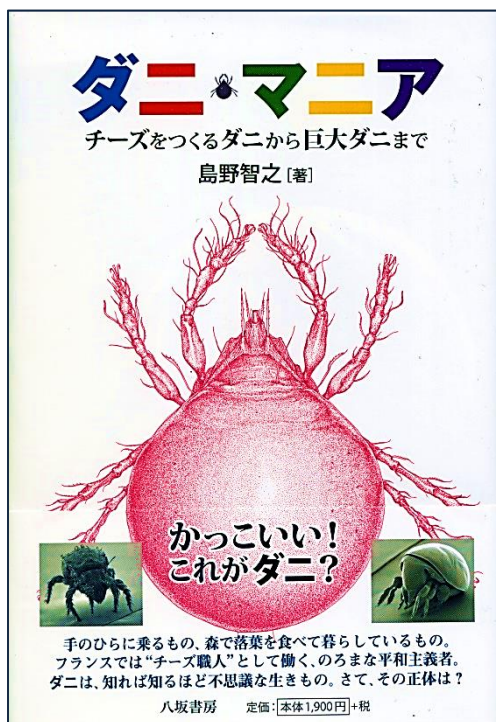
島野智之著 八坂書房 2012年12月発行  
ISBN978-4-89694-143-2 本体1900円

この本の表紙タイトルは、青赤緑黄紫で1文字ずつカラフルに刷られ、そこに「かっこいい！これがダニ？」と書いてあった。この世での代表的な嫌われ者は、蛇、ゴキブリ、クモ、さらにダニ、サソリと続くはずだ。蛇やクモ、サソリのマニアの存在は聞いたことがあったが、さすがにゴキブリとダニのマニアがいるとは思わなかった。ゴキブリもダニも、研究者が多数いることは知っている。これは衛生害虫として注目されるが故であろう。

著者は島野智之さん。「2009年の仙台での学会大会でお会いしたな」と思い出される会員

もいるだろう。私は、この本と出会うまで氏をダニ「研究者」と思っていた。実際その通りなのだが、マニアでもあることをこの本でカミングアウトしているのだ。確かに、私にも同じようなカミングアウトの経験があった。さらに、「くもの研究をしています」と自己紹介したときに、「まあ、素敵ですねえ」と応じられたときの、うろたえようはたとえようもない。「しまった。雲と勘違いされたな」と、とっさに思い、「空の雲ではなく、8本足のクモです」と返事をしたときの相手の顔。目を丸くしてきょとんとした姿を見て、あれこれと言いつつ説明を加える私自身がさらに恥ずかしいのだ。

クモでこの有様だから、ダニとなったら一体どんなことになるのだろうか。しかし、私のそんな心配など無用。「ダニを研究してどうする？という素朴な疑問に答えねばならない時期がきている」として、「多様性に富んだ魅力あるダニの世界を紹介し」、さらに「いろいろあっ



て生きているのに疲れたときに、ダニとダニの研究者のことを思い出して少しは元気を出してもらいたいのだ。『明るく、楽しく、前向きに！』。これが、ダニから学んだ、ダニ・マニアの合言葉」とまで述べている。な、なんと思い切った大胆な宣言だろう。クモ仲間さえ、ここまで言うのは八幡明彦さんくらいしかないに違いない。

さて、この本の第1章は「チーズはダニでうまくなる」だ。チーズコナダニの話は、近縁同業者の私はかつて聞いたことがあったが、一般人にはほとんど知られていないだろう。ダニ・マニアの仲間入りを希望して、この本を手に入れた人でさえ「げえっ」となるかもしれないが、クモマニアの私たちなら「へえっ、おもしろえ」となる話が、ここでは満載だ。

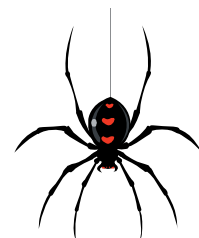
第2章「ダニの正体」、第3章「ササラダニとはどういうダニか」、第4章「ササラダニ大解剖」と話は核心に入る。分類的な記述なので、もうすでにある程度知っている人や「全く興味のない人」は、ここは斜め読みをしても、飛ばし読みしてもよいだろう。でも、ここに掲載されたササラダニ各種の写真や図は必見だろう。かつて土壌動物を調べていたときに会ったフリソデダニやヒメヘソイレコダニなど、当時の仲間の顔を思い出しながら懐かしく再会した。さらに、ササラダニが両性生殖と単為生殖を使い分けているといった最新の研究成果も紹介され、ダニ学の最前線に触れることができた。

私が最も面白く読んだのは、第5章と6章だった。5章の「ササラダニの防衛戦略」は、あの奇妙な「体形」や「装飾」の数々の由来が解き明かされ、6章「タイ料理とダニをつなぐ香り」は料理の話などではなく、ダニが発する防御物

質やフェロモンなどの話が島野さんの研究成果とともに紹介されていた。近年、ダニの分泌物を巡る研究は目覚しく進展しているというが、島野さんがそこに関わるきっかけとなったのが、ダニを「潰してみたら周りのダニがどんな反応をするか」という思いつきだったとは驚きだ。ただ、このような「思いつき」はまっさらなところにいきなり出たものではなく、それまでの経験や先行研究などの情報を得た上での「思いつき」だったに相違なく、われわれも肝に銘じなければと思った。仙台の学会大会で島野さんが話された「ヤドクガエルの毒はササラダニやそれを食べるアリの捕食に由来する」という驚くべき報告もここで紹介されていた。最後に、クモ・マニアからの些細な苦言を一言。引用文献とダニ・マニアのための参考書を見ると「おぬし、やはりただのマニアではないな」と、ばれてしまうほどの専門書群。「引用文献」と「ダニ・マニアのための参考文書(日本語と外国語)」と分離してあるのだが、「マニア向け」と「専門家向け」に分けたほうがよかったかもしれない。

この本によって、ダニ・マニアの数が増えるかどうかは疑問だが、ダニの研究も面白そうだと考える、次世代の学生が増加することは十分に期待できるように思った。クモオンリーのクモ学会若手会員の中からも、「ダニの研究もやってみようか」と考える人たちが出てくることを期待したい。

(新海 明)



言いたい! 聞きたい!



## クモ切手の風景 4

笹岡文雄

1988年スウェーデン発行のノーベル化学賞の記念切手です。左から1960年 W.リビー, 1963年 K.チーグラールと G.ナッタ, 1982年 A.クルーグ, 1977年 I.プリゴジンが図案化されています。

問題は左から2番目のK.チーグラールとG.ナッタの切手です。彼らは立体規則性ポリマーの簡易な合成法の発見, ポリエチレンの生成に革新をもたらす技術(チーグラール・ナッタ触媒)を確立しました。

その業績にクモが描かれているのはなぜでしょうか。組成に違いがあっても高分子糸ならクモはいつもそして触媒も使わず出しているぞということだとか。随分な話ですがクモが糸を生成するメカニズムは解明されていません。出糸管の中でどのような反応が起こっているかは誰も分かりません。チーグラールとナッタに



は少し酷な、クモからすれば面映い切手ですね。

額面は3スウェーデン・クローナ (svensk krona) 10 オーレ (ore). 4/12 現在1クローナは約¥15.7ですので, 約¥49になります。

## 採集情報

日本各地で採集された稀産種や, 都道府県初記録, 島初記録, 南限更新, 北限更新など分布上の重要情報について掲載する。これを読み, 「私もこんな種類を採集しているぞ」という方はその情報を是非お寄せいただきたい。

【このコーナーに掲載する記録は, 証拠標本か, 同定のキーとなる特徴がはっきりと撮影されている写真かのどちらかがあるものに限定させていただきます。目撃談のみのものにつきましては取り上げません。また, 幼体の記録についてはいろいろと議論のあるところですが, とりあえず現段階では, 参考記録として掲載を継続させていただきます。】

カコウコモリグモ 千葉県市原市椎津 椎津川 (35.471724N, 140.030504E) 2013年3

月29日 2♀2♂ 高木 R.俊採集・谷川明男同定。千葉県木更津市 小櫃川河口 (35.415941N, 139.901093E) 2013年3月29日 3♂ 高木 R.俊採集・谷川明男同定

ヤスダオニグモ 広島県呉市 2012年7月 1♀ 採集者不明 新井浩司同定



ミヤコジマトタテグモ

**ミヤコジマトタテグモ** 沖縄県宮古島市下地  
与那覇 2013年3月25日 1♀ 中根翼採集  
谷川明男同定

**イナズマクサグモ** 栃木県塩谷町風見 2012  
年5月10日 1♂ 同年6月22日 1♂ 馬  
場友希採集同定 いずれも幼体を採集し、成体  
まで育てた後同定

**ヒカリアシナガグモ** 静岡県森町谷中地区  
2012年9月7日 1♀ 馬場友希採集同定

**ナンブコツブグモ** 栃木県塩谷町風見 2012  
年9月22日 1♀ 馬場友希採集同定

**スジボソハシリグモ** 山形県鶴岡市高坂字古  
町 山形大学農学部付属農場 2012年7月6  
日 1♂ 馬場友希採集同定 (DNA バーコーデ  
ィングにより確認)

**ミチノクフクログモ** 茨城県つくば市若葉  
2012年8月19日 1♂ 馬場友希採集同定

**リュウキュウアシナガグモ** 鹿児島県屋久島  
町中間 2008年7月25日 1♀ 馬場友希採  
集同定 (DNA バーコーディングにより確認)

**トサハエトリ** 東京都武蔵野市井の頭公園  
2013年4月23日 1♂ 2013年4月30日  
2♂ 市川武明採集・須黒辰巳同定. 東京都江  
戸川区臨海町 葛西臨海公園 1♂ 2012年  
6月30日 篠崎雄彦採集・新井浩二同定

**オオクマヒメドヨウグモ** 山梨県甲府市上積  
翠寺町要害山城址 2013年5月2日 1y 市



シノノメトンビグモ  
(須黒辰巳撮影)

川武明採集・新井浩司同定

**シノノメトンビグモ** 沖縄県石垣島於茂登岳  
山麓 9-IV-2013 1♂ 阿部汎孝採集須黒  
達巳・加村隆英同定

**セキグチコガネグモダマシ** 東京都江戸川区  
臨海町葛西臨海公園 2012年6月30日 新  
井浩二採集同定

**カズサハイタカグモ**

東京都江戸川区臨海町 葛西臨海公園 2013  
年3月29日 1♂ 市川武明 1♀ 大石征夫  
採集 新井浩二同定

**チクニエビスグモ** 東京都武蔵村山市野山  
北・六道山公園 2013年2月10日 1y (飼  
育後同年4月7日♀成体 市川武明採集・新井  
浩司同定

**リュウキュウコモリグモ** 宮古島市増原  
(24°47'6" 125°22'20") 2013年2月18日  
1♂ 山野忠清採集・田中穂積同定

**ヒガシコモリグモ** 宮古島市増原 (24°47'6"  
125°22'20') 2013年2月18日 3♀ 山野忠  
清採集・田中穂積同定

**イリエマシラグモ** 佐賀県藤津郡太良町亀崎,  
亀崎の穴 1989年8月3日 2♀1♂, 福岡県  
糸島郡前原町井原山の廃坑 1981年6月13  
日 1♀1♂, 福岡県糸島郡前原町水無洞 1984  
年3月25日 2♀2♂, 福岡県朝倉市古処山古



処の風穴 1985年4月28日 3♀2♂, 大分県速見郡山香町ホーオン池下の試掘坑 1985年8月10日 1♀1♂, 大分県東国東郡国東町地蔵 1992年11月6日 1♂, 宮崎県東諸県郡高崎町浦之名大將軍の穴 1972年4月10日 1♀1♂, 宮崎県日向市梅ヶ浜祇園神社窟 1973年5月8日 1♀1♂, 宮崎県田野町下井倉祇園の穴 1973年8月8日 1♀1♂, 宮崎県田野町下井倉野添の穴 1976年3月19日 2♂, 鹿児島県始良郡隼人町妙見温泉くまその穴 1971年5月2日 3♀1♂, 鹿児島県日置郡金峰町大阪くまそ穴 1974年12月13日 2♀, 鹿児島県曾於郡志布志町内之倉片野洞 1974年11月5日 1♀1♂, 鹿児島県曾於郡志布志町宝満岩屋観音 1974年12月12日 1♂, 宮崎県都城市安久町尾平野洞 1982年3月27日 6♀1♂, 以上入江照雄採集同定. 長崎県五島岩松島遠見番岳 2010年1月23日 1♀1♂ 奥村賢一採集 入江照雄同定, 高知県高岡郡佐川町穴岩 2010年3月9日 2♀1♂ 立命館大探検部採集 入江照雄同定

**クロゲマシラグモ** 福岡県田川市夏吉岩屋第一鍾乳洞 1978年1月4日 2♂, 福岡県嘉麻市古処山 2005年5月13日 1♂, 福岡県嘉麻市大法山 2012年10月20日 1♀3♂ 以上入江照雄採集同定. 長崎県平戸市生月島 2005年9月17日 1♀, 長崎県平戸市安満岳 2005年11月13日 1♂ 奥村賢一採集 入江照雄同定. 大分県佐伯市宇目町木浦の廃坑 1985年11月10日 1♂, 大分県佐伯市宇目町落水の廃坑 1985年11月10日 2♀1♂, 宮崎県東臼杵郡椎葉村仲塔洞 1985年11月9日 1♀1♂, 宮崎県西臼杵郡日之影町中組の穴 1985年10月25日 1♂, 入江照雄採集同定.

**ヨコフマシラグモ** 鹿児島市城山公園 2005年10月19日 1♀, 熊本県天草市本渡町十万山 2011年10月1日 1♀, 福岡県英彦山大権現 2013年4月22日 1♀ 入江照雄採集同定

**ミゾノクチマシラグモ** 徳島県三好市東祖谷 2006年7月27日 1♂, 徳島県鳴門市姫田弾薬庫跡 1987年3月22日 9♀2♂, 徳島県美馬郡つるぎ町高高清高敏(Ⅱ) 1986年1月18日 1♀, 徳島県美馬郡つるぎ町高高清高敏(Ⅲ) 1986年1月18日 3♀1♂, 徳島県美馬郡つるぎ町高高清高敏(Ⅲ) 1986年9月14日 7♀4♂ 坂東治男採集 入江照雄同定

**ナガトナミハグモ** 福岡県嘉麻市大法山 2012年11月4日 3♂ 入江照雄採集同定

**アケボノユウレイグモ** 鹿児島県薩摩郡下甕村甕島 1968年8月2日 1♂ 吉倉 真採集・入江照雄同定 鹿児島県薩摩郡下甕村甕島 1993年10月10日 2♀1♂ 入江照雄採集同定.

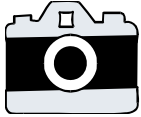
**ワクトツキジグモ** 静岡県袋井市小笠山登山道 (137°57'40"E, 34°44'40"N) 2013年2月16日 1♂, 静岡県袋井市豊沢静岡理科大学裏山 (138°00'16"E, 34°00'08"N) 2013年3月26日 1♂ 鈴木佑弥採集同定 谷川明男確認

**オクマギンメッキゴミグモ** 愛知県北設楽郡設楽町裏谷 2012年6月14日 1♂ 緒方清人採集同定(およそ30年ぶりの発見です)



オオクマギンメッキゴミグモのオス  
(緒方清人撮影)

(新海 明・谷川明男集約)



## ギャラリー



シラホシコグチャハエトリ

興味津々で何かを見つめています。4脚はいつでも跳ねることができるように準備万端です。 撮影・コメント：谷川明男



クモの巣図鑑が出版されました。子供向けの本ですので、クモ屋の方々には物足りない内容だと思いますが、周りにクモ好きになりそうな少年少女がいましたらぜひ紹介してください。(谷川明男)

## 遊絲原稿送付先

〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603

新海 明まで

E-mailでは dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp (谷川明男) まで

発行は、年2回(5月、11月)の予定。締切は発行月の前月末日です。

## 日本蜘蛛学会

homepage : <http://www.arachnology.jp/>

### 入退会は

庶務幹事

中田兼介

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町

35 京都女子大学

E-mail: nakatake@kyoto-wu.ac.jp

### 会費の問い合わせ及び住所変更は

会計幹事

加藤輝代子

〒272-0827 千葉県市川市国府台

5-26-16-206

E-mail : kiyoko\_kato@tce.ac.jp

年会費 正会員 7000円 (学生は5000円)

郵便振替口座 00970-3-46745

---

---

## 日本蜘蛛学会

遊絲 第32号

2013年5月28日発行

編集者 新海 明, 谷川明男, 池田博明

発行者 日本蜘蛛学会 会長 宮下 直

---

---